

東北大学大学院情報科学研究科

「学際的研究プロジェクト支援経費」報告

タイトル	情報の計測と価値
主催者	森杉壽芳（人間社会情報科学専攻・社会システム計画学・教授）
期日	平成16年3月10日（水）
会場	大学院情報科学研究科棟2F中講義室
出席者数（講師・パネリスト等を除く）	30名
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	<p>氏 名（xx大学教授）</p> <p>森杉壽芳（人間社会情報科学専攻・社会システム計画学・教授）</p> <p>岩崎祥一（応用情報科学専攻・認知情報学・教授）</p> <p>安藤朝夫（人間社会情報科学専攻・計量システム分析・教授）</p> <p>白鳥則郎（電気通信研究所・コミュニケーション論・教授）</p> <p>福山敬（人間社会情報科学専攻・都市社会経済システム分析・助教授）</p> <p>篠澤和久（人間社会情報科学専攻・論理分析学・教授）</p>
目的	<p>情報の計測とその価値は、心理学、経済学、政治学、数理統計学などにおいて様々に定義され、その適用が行われている。本プロジェクトは、このような分野における現状を認識し、相互に異なる分野への貢献の可能性を探ることを目的とした。このため、何度かの各分野における現状について説明を受ける発表会を行った。</p>
内容	<p>本研究会では、情報の価値が議論されていると思われる分野の専門家によるその分野における情報の価値についての発表ならびにこれに基づいて全体討論をして情報の価値に概念の共通化を試みた。専門域としては交通行動における情報の価値、統計学における情報の価値、ゲーム理論における情報の価値、情報ネットワークにおける情報の計測と表示、情報の価値の心理学的意味、および情報と知（実学と虚学のあいだ）という題目の発表を行った。そして、討論の結果、今後、ゲーム理論における情報の価値と中心として学際研究を追求することができる可能性があることを確認した。</p>
情報科学研究科にとっての意義・貢献度	<p>情報という言葉に近い言葉である確実性や知識を含み、各分野で情報という言葉をもとにどのように定義し、どのように計測し、どのように価値付けしているかを整理することができた</p>